

2020年度 独創的研究助成費 実績報告書

2021年 3月 2日

報告者	学科名	保健福祉学科	職名	准教授	氏名	周防美智子
研究課題	地域子育て支援拠点連携アセスメントシートの効果測定と簡易版(スクリーニング版)の構築					
研究組織	氏名	所属・職		専門分野	役割分担	
	代表	周防美智子	保健福祉学科・准教授	子ども家庭福祉	研究総括、研究会、調査分析、簡易版・冊子作成	
	分担者	中典子	中国学園大学・准教授	児童福祉	調査分析・簡易版作成	
		地域子育て支援拠点7施設長	総社市・倉敷市地域子育て支援7施設	子育て支援	研修会、調査、シート作成	
研究実績の概要	<p>2019年度全国児童相談所での児童虐待相談件数は過去最多となり、岡山県においても増加傾向にある。児童虐待の発生予防は、出産前後から子育て家庭にかかわる早期の子育て支援が必要である。</p> <p>2017年度に行った県内地域子育て支援アンケートの結果では、地域子育て支援が、子育ての不安や孤立感の軽減、子育て家庭への好影響が明らかとなった。一方で、連携などの課題が見られた。調査結果を地域子育て支援者にフィードバックすると、「情報共有の視点、観察の視点、連携の指標となるものが欲しい。」という要望が出た。</p> <p>そこで、2019年度は、地域貢献助成費により、岡山県の児童虐待の発生予防、早期発見を目標に、出産前後から子育て支援を行う県内の地域子育て支援拠点における児童虐待予防プログラムとして『地域子育て支援拠点連携アセスメントシート』の作成(冊子)を行い、県内の行政機関及び地域子育て支援拠点に冊子を配布した。</p> <p>2020年度は、『地域子育て支援拠点連携アセスメントシート』の普及活動とシート活用の効果測定を行い、簡易版(スクリーニング版)の構築を予定していた。</p> <p>*2020年度当初、コロナ禍において研究会の招集、普及活動などが困難となり、秋以降の研究活動を予定していたが、さらなるコロナ感染拡大により、今年度は研究を中止せざるを得ない状況に至った。</p> <p>しかし、岡山県内の児童虐待予防に向けて、実践者参加型の研究を継続することは重要であると考えことから、来年度、再度助成金の申請を行い、コロナ感染予防を考慮した研究会の実施を検討している。</p>					